

【意見交換】

<議題1>

全国の一步先行く子育て支援策について

(ページ)

資料1-1 全国の一步先行く新たな子育て支援策について1

資料1-2 市町村意見(八頭町、北栄町)2

<議題2>

持続可能な地域交通体系について

(ページ)

資料2-1 新たな地域交通体系<<鳥取モデル>>の構築について3

資料2-2 市町村意見(八頭町)4

【机上配付資料】

- ・ワールドマスターズゲームズ2021関西 2020.2.1エントリースタート
- ・ワールドマスターズゲームズ2021関西 大会ボランティア募集

全国の一歩先行く新たな子育て支援策について

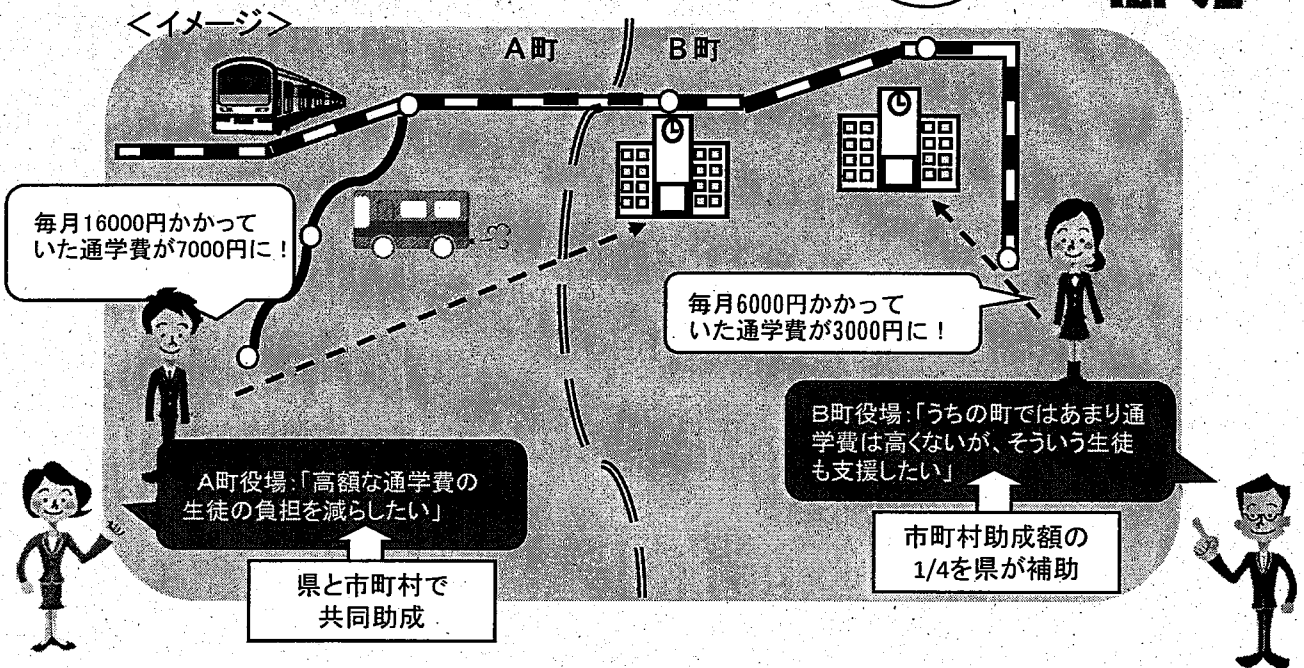
- 本県では、平成22年の「子育て王国」建国以来、各市町村の協力の下、第三子保育料の無償化や小児医療費の助成等、全国に先駆けた子育て支援に取り組んできた。
- 昨年10月からの幼児教育・保育無償化で、国がようやく追いついてきたことを踏まえ、全国の一歩先行く子育て支援策に、県と市町村との協働で取り組みたい。

1 高校生通学費助成事業

公共交通機関の通学定期券を購入し通学する高校生の通学費負担軽減に取り組む。

- ・7000円／月を超える部分について県と市町村共同で助成
- ・7000円／月以下の部分についても市町村が助成する場合は市町村助成額の1/4を県が支援

家計の負担を気にせず希望の学校で学べる



2 産後ママと赤ちゃんすくすく応援事業

産後ケアを受けやすい環境づくりに向けて、経済的支援と受け皿整備に取り組む。

(1) 産後ケア無償化事業

市町村が認める母子の産後ケア利用料の個人負担額を無償化する。

【事業費】国1/2、市町村1/2

個人負担額

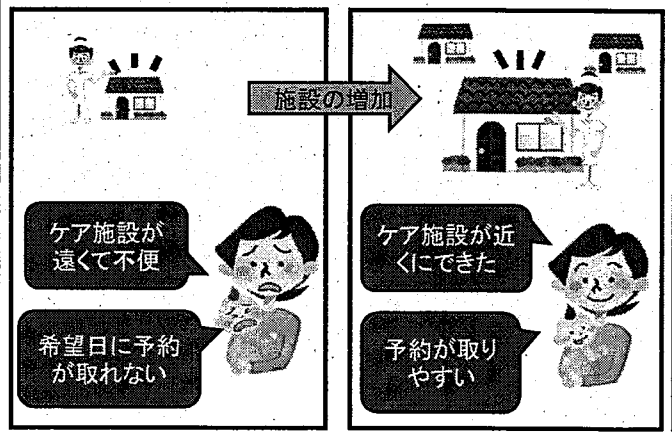
県と市町村で協力して個人負担額を無償化



利用料が心配で迷っていたけれど、無料なら安心して利用できる

(2) 助産所施設・設備整備事業

産後ケアの受け皿拡大のため、助産所の増改築や改修に要する工事費等を助成する。



市町村意見

＜議題 1＞全国の一步先行く子育て支援策について

団体名 (八頭町)

項目	鳥取県高校生通学費助成制度について
内容趣旨	<p>令和 2 年度より月額 7,000 円を超えた通学定期分について、助成制度を創設していただいた事は非常にありがたい事と考えているが、その申請方法、助成方法については、各市町村に一任いただき、運用しやすい制度としていただきたい。</p> <p>(例) 助成申請を各市町村に申請していただき、各市町村の制度により、7,000 円を超えた部分を保護者に交付する。県へは市町村が年に 1 度まとめて助成申請するなど。</p>

団体名 (北栄町)

項目	産後ケア無償化事業
内容趣旨	<p>町では、出産後に育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない方に対し、産後ケア事業を実施しています。</p> <p>今回、産後ケア事業(宿泊型、デイケア型、アウトリーチ)を利用した者の利用料(個人負担額)同等額に対し、県及び市町村が共同で助成し、個人負担額を無料とする計画を県が提案しています。</p> <p>しかし、町はすでに、事業費に対し一定額を負担しており、県の事業案(個人負担額相当額の 2 分の 1 を市町村が負担)では、町負担が増となります。</p> <p>つきましては、無償化の実施にあたっては国・県・市町村で支援する考えとし、国負担分の除いた額を市町村と県で 2 分の 1 ずつ負担する制度としていただきますようお願いします。</p> <p>あるいは、個人負担相当額の助成は今まで負担のなかった県が全額負担をしていただきますようお願いします。</p>

新たな地域交通体系《鳥取モデル》の構築 ～バス中心の交通体系から転換～

従来の
交通体系

バス中心

【課題】・定時定路線バスは非効率かつ利便性が低下
・深刻なドライバー不足によりバス路線の縮小・廃止

バス利用者減少に伴い、需要に応じて
ドアツードアで移動可能なタクシーの方が効
率的かつ利便性が高い場合への対応が必要。

ドライバー不足により地域交通の維持が困難となる
事例が多発しており、住民主体の共助交通と連
携した地域交通体系の構築が必要。

新たな
交通体系

R2年度県支援制度検討中

バス、タクシー、共助交通の組み合わせ



日本財団と連携



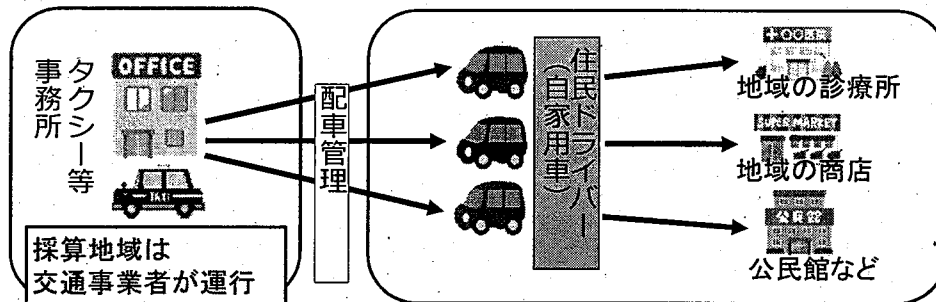
1 タクシーの利活用

- 小規模高齢化集落等に居住する高齢者、障がい者等に対するタクシー助成への支援
 - バス路線縮減に伴い新設、拡充するタクシー助成への支援
 - 相乗りの場合のインセンティブ付与への支援（複数乗車による運行効率化）
- ⇒多様なニーズに応じたドアツードアの輸送手段の提供

2 住民ドライバーの協力

- タクシーやバスと自家用有償運送が役割分担しながら、住民ドライバーが交通事業者等と協力し、運行する取組みや住民主体の共助交通へ支援

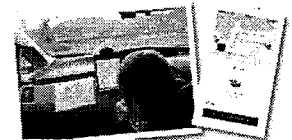
＜取組みイメージ＞



※住民主体の共助交通への支援強化
有償運送を目指す無償共助交通の支援強化や市町村と連携した無償共助交通の取組み支援を行う

3 配車マッチングシステム導入支援・活用研究

- 市町村のニーズに応じた配車アプリ等の導入を支援
- 県で立ち上げた「新たな地域交通体系構築のための研究会」において、既存配車アプリ等のメリット・デメリットの整理・分析や適材適所での有効活用策の研究を行い、市町村へフィードバック



配車アプリ導入事例：
京丹後市（ウーバー）

いつまでも安心して住み続けられる地域へ！

資料 2 - 2

市町村意見

＜議題 2＞ 持続可能な地域交通体系について

団体名 (八頭町)

項目	共助交通を目的とした市町の車両導入について
内容趣旨	各自治体で小さな拠点を整備し、高齢者交流サロンや健康体操などを実施しているところではありますが、免許証等を持たない高齢者にとっては、交流サロンへの参加する移動手段や、買い物等に行く交通手段がなく、大変困っている現状にあります。県におかれては、「無償による共助交通の取組支援」制度を推進されているようですが、是非とも共助交通を目的とした市町の車両購入の支援について、小さな拠点施設に車両が配備できるよう配慮をお願いします。

団体名 (八頭町)

項目	バス・タクシー等のドライバー不足に対する支援について
内容趣旨	県内のバス・タクシー等の事業所においては、運転手の不足が深刻な課題となっており、各自治体の交通体系の維持が困難となっている。 持続可能な交通体系を確保するためには、バス・タクシー事業者へのドライバー養成に対する支援を拡充していただき、人材確保に努めていただきたい。

団体名 (八頭町)

項目	ウーバーシステム等を活用した交通体系の調査・研究について
内容趣旨	交通事業者のドライバー不足等により、タクシー営業所が閉鎖されたり、早い時間に閉鎖するなど、中山間地域の住民にとって移動手段の確保は喫緊の課題となっている。 こうした状況にあって、ウーバーシステム等、住民ドライバーを活用した自家用有償運送のシステム作りを推進していく必要があると考えます。各自治体だけで、このシステムの調査研究をするのではなく、鳥取県が調整役となって、東・中・西部ブロックで住民ドライバーを活用した自家用有償運送システムの体制づくりを是非実施していただきたい。